

# 住友化学 i-農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第73号 平成23年1月31日  
発行 住友化学(株) アグロ事業部  
お客様相談室 0570-058-669  
編集者 佐伯晴子  
発行責任者 南 圭三郎

## 目次

新年のご挨拶	p.1
農家さん訪問記 (58)	p.2
住友化学アグログループ紹介 (株)日本クリーンアンドガーデン	p.6
西瓜・スイカ雑学(最終回)	p.7
今月の肥料紹介	p.9
今月のお奨め農薬	p.10
今月のご相談から	p.11
復活 お役立ちプチ情報	p.12
農薬登録情報	p.13
病害虫発生情報	p.13
最近の「お・・美味しい!」	p.14
新 編集後記	p.15



シ`ユウカ(シ`ユウカ科)とツルクメト`キ(ニシキ科)  
富樫 信樹 画

## 新年のご挨拶

住友化学(株) アグロ事業部 普及部長 原田 聡

住友化学「i 農力だより」読者の皆様、新年おめでとうございます。

昨年は113年の観測史上最も暑い夏を記録し大変な猛暑でしたが、冬は冬で例年より雪も多く一段と寒さの厳しい冬を迎えております。

日本は現在、長期にわたるデフレ、急速に進む高齢化、人口減、さらには財政難や中国・インドなどの新興国の追い上げ等々さまざまな未知の課題・難題に直面しており、なんとなく閉塞感に陥ってしまう状況ではあります。でも頑張っている日本人はたくさんいます。昨年は、根岸英一氏、鈴木章氏のノーベル化学賞受賞、宇宙航空研究開発機構の小惑星探査機「はやぶさ」の7年ぶりの地球への帰還、サッカーW杯のベスト16等の日本人の活躍が話題となりました。また、i 農力だよりの農家さん訪問記に登場していただいている農業生産者の方々もこだわりの栽培、時代を先取りした取組み、次世代を意識した取組み、高品質農産物へのこだわり等独自に或いは仲間の方々と共に懸命に農業に取り組んでおられました。

天候不順は世界的な傾向で、今冬は、ブラジル、オーストラリア等では大雨のため洪水の被害に見舞われており、FAO(国連食糧農業機関)は天候不順による農作物の供給不足に警告を発しております。そのような状況で、食料自給率の向上や、高品質を武器にした農産物の海外への輸出拡大による経済活性化など日本農業の果たすべき役割は重要です。私も住友化学アグログループは、農業生産者の皆様に農薬・肥料・資材から関連技術や農産物販売まで総合的に提案、支援していく企業を目指して一緒に進んでまいりたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

追伸：今年は、i 農力ホームページを皆様方のご利用しやすいように改訂いたします。また、お客様相談室の機能もレベルアップすることにより、皆様方からのお問合せに対する対応能力をアップさせます。ご期待ください。



**農家さん訪問記(58)****情報収集で利益をあげ、未来に繋ぐ農業経営！**

今回は福島県伊達市霊山町山戸田を訪問し、周りを山で囲まれた土地でいちご栽培に取り組み、地域の指導者としても活躍されている菅野昇さん(60歳)と息子の慎一さん(35歳)にお話を伺いました。(取材日 平成22年12月15日)

**ハンデに負けず規模拡大！**

菅野 昇さん と 慎一さん(ご自宅前で)

霊山町山戸田は東に霊山、北に大館山、西に古城山、南に御幸山があり、地区の真ん中を広瀬川が流れています。東北地方には三つの広瀬川があり、この広瀬川は阿武隈川に流れ込んでいます。このように山に囲まれているので、日照時間が少なく、他の地域に比べると農業をするにはハンデを背負っていますが、人々の努力により、夏は桃、冬はいちご栽培と農業の盛んな地域となっています。

菅野さんのお父さんはもともと養蚕農家で会社勤務を兼業していました。畑は70アールありまし

たが、山手ばかりで、桃を中心に栽培していました。当時、この地域はハウス栽培によるらるの産地で、露地いちごも一部で栽培されていました。昭和30年頃、いちごの品種が宝交早生に変わった時、これからの需要を見込み、いちごのハウス栽培を始めました。

菅野さんが18歳で農蚕高校を卒業し、お父さんと農業を始めた頃は、お父さんは養蚕を完全にやめ、また、一部栽培していたきゅうりやにも全ていちご栽培に切り替えていました。いちごに特化したのは、この当時は投資のかからないほぼ自然まかせの「半促成栽培」でお金になった時代だったからです。

昭和43年には収量向上と出荷時期の調整で売り上げを上げるため、電照栽培を採用することにしました。しかし、この頃はハウスの建設資材が不足しており、竹を組んでハウスを建てるといった状態でした。このようなハウスは軽量で弱く、強い風が吹くと支柱が曲がったりしたので、風の強い夜は見回りをする苦勞を重ねました。

その後、順調に規模を拡大できたので、菅野さんやその仲間はコストはかかるが、長期間使用に耐えるハウスを採用することを決断し、昭和47年には18人の仲間と共同で、当時東北一の規模を誇る大型ハウス団地を建てました。ところが、昭和49年にオイルショックにみまわれ、共同使用していたボイラーの燃料費が高騰したため共同使用を止め、その後は個人でやるようになりました。昭和55年には大雪で6棟が潰れることもありましたが、その後建設したハウスは頑丈で今でもしっかり立っています。

菅野さんが現在栽培している農地は、いちご栽培実面積で40アール、育苗ハウス10アール、

水田 30 アールです。また、菅野さんのお父さんを中心に、以前から持っていた山の畑で桃と柿を 70 アール栽培しています。農作業は人件費のことも考えて、菅野さん夫婦、慎一さん夫婦の家族だけでやっています。以前は利益率が高く、経営も楽だったのですが、今は燃料費、肥料費、資材費がかさむためです。

出荷は、地域を管轄する JA 伊達みらいを通じて行っています。以前は札幌、旭川を中心に北海道に出荷していましたが、市場での単価が下がって来ているため、今は福島県内にも多く出荷しているとのこと。



頑丈なハウス（3重構造）

## 貪欲に新技術を導入

以前は、いちごの出荷の中心が 11 月からクリスマスの「早だし」だったので、花芽形成のための山あげ( )が必要でした。山あげでは近くにある標高 1000m の山にいちご苗を運んで低温に曝しましたが、その場所は、風が強く苗管理が困難だったので、50km 以上離れた会津地方まで運んだこともあったそうです。そこで、平成 3 年からエアコンによる夜冷装置を導入しました。

この装置は栃木県で開発されて入ってきたもので、この地域でいち早く導入しました。続いて、平成 5 年には暖房装置、電照を更新し、さらに新たに炭酸ガス発生機を導入しています。

この地方は日照時間が短く寒い日が多いのが特徴です。寒い日にはハウスを開けられないので、炭酸ガス発生機でハウス内の炭酸ガス濃度を 1000ppm 程度に高め、朝から十分な光合成をさせることにより、短い日照時間でも十分な収量を上げています。

土作りは栽培の基礎ですが、昭和 47 年の農地基盤整備後から堆肥を十分投入しています。堆肥は以前自分で作っていましたが、今は堆肥の野ざらしができなくなり、専用に置く場所が無いので購入しています。また、土作りとしては土壌消毒が欠かせないため、3、4 年ごとにクロルピクリンで土壌消毒をして、その間は別の薬剤で土壌消毒をしています。

( ) 山あげ：苗を山地の低温にさらすことで花芽分化を促進すること



炭酸ガス発生機

## 新品種に挑戦し、時代のながれに乗る

菅野さんは「とちおとめ」1 品種のみを栽培しています。栽培方法には半促成栽培、準促成栽培、促成栽培、超促成栽培の 4 種があります。半促成栽培が最もコストがかからず、準促成栽培、促成栽培の順にコストが上がり、超促成栽培には種々の投資が必要です。家族のみで農作業をする菅野さんのところでは、このように、同じ品種で栽培方法を変え、定植や出荷作業が一時期に集中しない工夫をし、出荷を 11 月～6 月に分散させています。

1 品種のみを栽培しているとはいえ新品種にもアンテナを張っています。新しいものにチャレンジしてみたいと、農業試験場訪問等で知った「次世代に出てきそうな品種」に早くから注目し、見守っています。最近の例としては、大規模な投資も不要で高齢化した農家にも導入しやすい品種として群馬県で作られた「やよい姫」の栽培許諾を得て、苗を分けてもらい、仲間4人に試しに作ってもらっています。

しかし、品種はその土地に合うものと合わないものがあります。例えば現在主流の一つになっている「あまおう」は花芽が着くのに必要な葉の数が多いため、福島で栽培しても収量性が低く、栽培のメリットがありません。

また、新品種が出ると栽培に慣れるまで5～6年程度かかります。そして、新品種の販売は価格設定が難しく、新品種に手を出すにはリスクが伴います。でも今までも菅野さんはロビンソン、ダナー、宝交早生、麗紅、女峰、とちおとめと栽培品種を変えて来ています。こういうリスクがあっても成功したのは、花数が少なくても、実が大きく、時代の流れに乗っている品種と感じたからです。新品種の導入は少しずつ行います。短期間で新品種に変えると、栽培技術が追いつかず、収穫時期を分散することができなくなる可能性があるからです。そうすると家族だけではとうてい作業しきれなくなってしまいます。

さらに新規装置や栽培技術さらには新品種の導入にあたっては、農業試験場の担当者や他県のいちご栽培農家との情報交換が重要です。しかし、他県のいちご栽培農家は簡単には情報を与えてくれません。農家を訪問しても、ハウスの中には入れてもらえないことも多かったそうです。それでも、手を尽くし、熱心に交流を重ねることで現在では、菅野さん独自の情報網を作っています。



とちおとめ

## 未来を見据えた後継者づくり！



ハウス内の様子・黄色いのがラノーテープ

現在、JA 伊達みらい管内でのいちご農家は約 180 人（栽培面積 30 ヘクタール）ですが、平成 7 年当時と比べると半分程度になり、人も面積も減って来ています。この中で菅野さんは借地を含めて栽培面積を増やして来ました。山戸田地区でのいちご栽培仲間は 18 人いますが、後継者がいるのは菅野さんを含めて 2 軒のみです。菅野さんは 19 年間福島県農業指導士として主に農業経営を指導して来ました。後継者を増やすための手も打ちたいところですが、他の作物と平行してやっていて、いちご栽培だけに資本を投下できないなど、それぞれその人の資本、やる気を最優先にしているため、そこまで手が回っていないのが現状です。

さて、息子の慎一さんが就農したのは 30 歳の時です。その前は 9 年間、JA に勤めていました。JA にいた時から農業をいずれやりたいと思っていた慎一さんは、菅野さんが手術をしな

ければなくなった時に、早めに継ぐ決心をしました。(本人はもう少し後かと思っていたそうです)。就農するにあたっては、お父さんが県の農業指導士を19年間やっていたので、栽培や経営に関しては不安は無かったそうです。

慎一さんが就農してから栽培面積も増え、炭酸ガス等の新技術も導入し、収量が15,000箱から20,000箱に増加しました。もともと、慎一さんはJAの青果物共撰場で働いていたので、「出荷現場を通していろいろなことを見てきたのが役立っているのかもしれない」と菅野さん。菅野さんのハウスではラノーテープを使用していますが、ラノーテープ導入のきっかけも慎一さんです。ラノーテープは導入して4年目になりますが、当初はJAの指導で導入しました。導入当初から効果があり、その後継続して使用しています。導入前は収穫時にコナジラミが粉のように舞い上がり、それが鼻に入って収穫作業の妨げになっていましたが、導入によって、コナジラミが激減し、スムーズな収穫作業が出来ているとのことでした。

菅野さんは農業指導士でしたが、指導の内容は農業経営が主だったので、慎一さんの栽培技術は自分の技術より既に上かもしれないと感じています。実際に農薬、肥料、品種、栽培方法も新規のものが沢山あるため、既に菅野さんがついていけないものもあるそうです。また、菅野さんは色々な部会への出席も慎一さんに任せています。

菅野さんは「農家は全体を長い目で見る必要がある」と言います。そのため後継者のこともしっかり見据えて動いてきました。慎一さんは「農業はいちごに限らず収穫までが楽しみで、これが楽しくないとできない。むしろ収入はその後からついてくる。」というのが信念です。そう語るお二人からは、お互いを信頼している様子がひしひしと感じられました。一年中農作業に明け暮れる菅野さん宅ですが、年に3～4回ほど、いちごの収穫後に近くの温泉や小旅行に家族で出かけるのが楽しみだそうです。これからも親子二人三脚で、美味しいいちご作りを続けて欲しいと思いました。

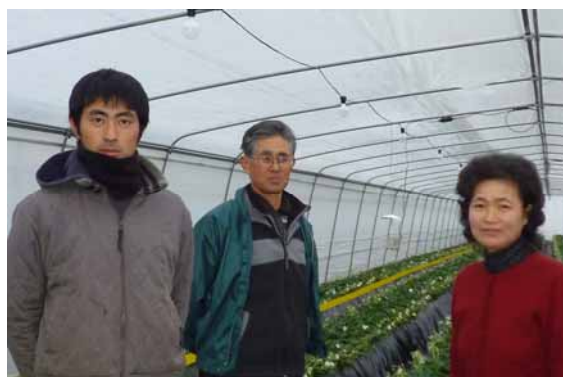


もぎたての とちおとめ！

## あとながき

ご自宅でお話を伺った後、少し離れた場所にあるハウスに案内していただきました。「今年はこのあたりにもイノシシが出るんですよ」とお母さん。実際、ご自宅前の桃畑の下に新しいイノシシの足跡があって驚きました。また、この日は土地の人も「今日は寒い」と言うほど寒い日で、外に出た時は本当に凍えるほどでした。しかし案内されたハウス内は3重構造のため暖かく、その中でいちごが大きく立派に育っていました。ハウス内には暖房装置や炭酸ガス装置があって、「ここまで大きく育てるのも、どれほどの愛情と手間がかかるのだろうか・・・」と思いを巡らせつつ、雪のちらつく山戸田を後にしました。

今回の取材はJA伊達みらい様のご協力により実現しました。ありがとうございました。



暖かいハウス内で お母さんも一緒に・・・

(佐伯・山脇)

[目次へ戻る](#)

住化アグログループ紹介

株式会社日本グリーンアンドガーデン



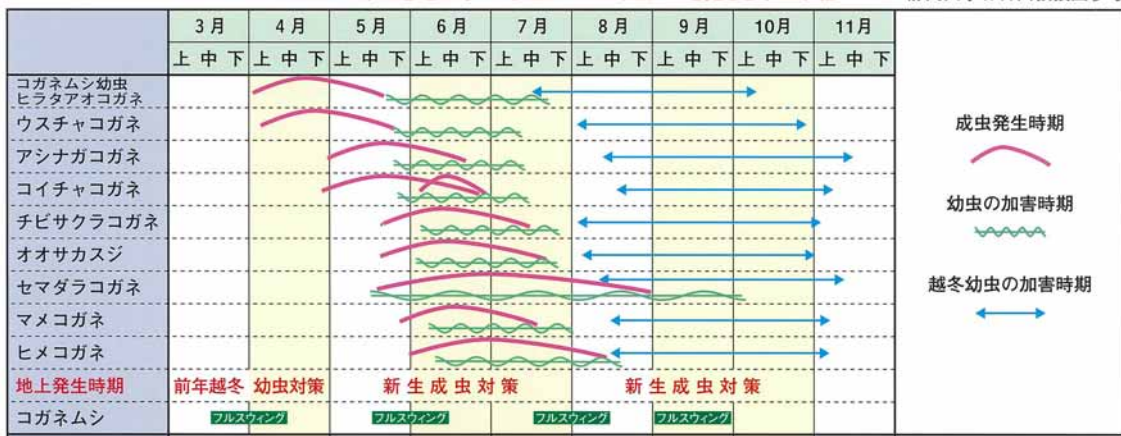
芝のお話

コガネムシは沢山の種類が生息しています！

一口にコガネムシといっても沢山の種類が生息し、生態・大きさ・発生時期も種類によって異なります。生息場所にもよりますが、4月下旬ごろから7月初旬ごろに成虫の発生ピークを迎え、幼虫は越冬します。また蛹にもなります。基本的に土壌中の幼虫が芝の根を害し生育に影響を与えます。

主な芝害虫の発生生態と防除適期

静岡大学廿日出教授図参考



ヒラタアオコガネ



マメコガネ

防除方法

芝のコガネムシ類の防除はフルスウィング(クロチアニジン 50%)をご活用下さい。

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
芝	コガネムシ類幼虫	1,000倍	発生初期	4回以内	1㎡当たり0.1%散布	4回以内
		5,000倍			1㎡当たり0.5~1%散布	

お問合せ

株式会社日本グリーンアンドガーデン 緑化第一営業部 03 - 3669 - 5888 まで

[目次へ戻る](#)

## 西瓜・スイカ雑学(最終回)



スイカと3匹の猫

## スイカの雑学・番外編

江戸時代には、スイカの果肉の赤いのが血肉に似ているとして気味悪がられたようです。

1651年、由井正雪の乱が江戸市中をにぎわし、その翌年に江戸にスイカが入ったとされています。スイカを見る人々は、スイカの中身の赤いのは「自殺して果てた正雪の亡霊が乗り移っているからだ」と噂して気味悪がり、当初は受け入れられなかったと記されています(2009,宮崎)。スイカが庶民の夏の味覚として受け入れられたのは、1770年代のことで、その後に露店のスイカ切り売りが盛んに行われるようになります。今ではスイカが年中果物店に並べられ季節感が希薄になっていますが、最近、切りスイカが店頭に並べられる機会が多くなって、本格的な夏の到来を感じさせてくれます。

映画「母(かあ)べえ」(吉永小百合主演)の中で笑福亭鶴瓶がふんする奈良・吉野のおじさんが上京するのに大和西瓜を持ってきて、縁先で近所の子供たちと切りスイカを豪快に食べる戦中の下町風景をみながら、あのようにスイカにシャブリ付くような食べ方はなくなったな、このような食べ方をしないと消費は伸びないなと思いながら、スイカを思い切り食べている野球少年団の姿に、当時に思いを馳せながらシャッターを切りました(NO.68掲載)。

今ひとつスイカで忘れてはならないものに、奈良漬け用のスイカがあります。シロウリ、キ



ュウリと一緒に無地皮の小形スイカが詰められています。このスイカは皮が厚くて漬物適性に優れ、昔から、そのシーズンになると出所不明で漬物屋に運ばれてきました。よく調べてみると和歌山市周辺と鳥取県でも作られているらしいこと、「源五兵衛スイカ」、別名「小(こ)スイカ」、「千成スイカ」と呼ばれるもので、タネは生産組合員以外には出さない門外不出のものでした。幸いに奈良漬用のスイカは未成熟果で収穫、出荷されるためにタネの拡散はなかったようで、今も小スイカ生産地は場所不詳ですが写真のように海岸縁の砂地畑で存続しています。これまでの酒粕漬け以外にも醤油漬けした「源五兵衛西瓜とまり漬」(鳥取県)も発売されています。

近年、露地のスイカ産地で大問題になっているのがアライグマです。果実に丸い穴を開けて、内部をソックリ食べてしまいます。あのアニメ「あらいぐまラスカル」の子孫(?)が大量に



源五兵衛スイカ産地



無地皮の源五兵衛スイカ

殖えて野生化・害獣化したようで、夜行性のために昼間は姿をみせませんが、夜の間には被害に遭うため家庭菜園などでは手の施しようがなく栽培をあきらめるケースが増加しています。

ウリバエ、ウリハムシの項では「瓜の害虫なのに瓜守るとは何故だ」と必要以上にこだわったようですが、その後、柔らかい発想の若手研究員との対話から以下のように見方を変えてみました。夏のスイカの収穫期には、スイカ泥棒が出没し、特に夏祭りの日にはほろ酔い気分の人々が、格好の酔い覚ましのスイカを不法取得して帰ったと、今は昔と古老は自慢話のように聞かせてくれます。今日の「サクランボ泥棒」などは、行為は一緒でもその内容はかなり違うようにも思います。当然のことながら、生産者も、そのシーズンにはスイカ畑の周辺には瓜番小屋を建てて監視、巡回を欠かしませんでした。その隙をついてのスイカ泥棒のスリルを楽しんでいた節もあります。俳句の世界では夏の季語として、瓜守、瓜番、瓜小屋、瓜番小屋が記されています。「瓜守」ウリバエを害虫としてとらえないで、この虫が瓜の周辺に、常々、寄り添うようにいる。その姿はあたかも瓜を守っているかのようだ。との柔軟な詩的発想から先人は「守瓜」を当てたとするのか、はたまた漢字が中国から入ってくる前から「ウリバエ」なる「虫」があり、その「音(朴)」から適当な漢字を当てはめ「守瓜」になったと解釈すれば「字義」を掘り下げる意味がないことになります。その真偽のほどは分かりかねますが、スイカ雑学も併せて一件落着にしましょうか。一年間のおつき合いありがとうございました。



捕獲されたアライグマ



アライグマの食害痕

#### 【主な参考文献】

神田武ら(1934): 西瓜品種改良事業成績書(奈良農事・臨時報告第3号)、三島良三郎(1936): ウリバエの生態並びに防除に関する研究成績(奈良農事・臨時報告第5号)、村田寿太郎ら(1936): 西瓜蔓割病(萎凋病)に関する研究成績(奈良農事・臨時報告第6号)、斉藤光夫ら(1955): 田畑輪換に関する研究(奈良農試)、萩原善太郎著(1967): スイカ人生-わが人生録から-((財)富民協会発行)、鈴木栄次郎(1971): 大和スイカ全編(富民協会)、松尾卓見ら(1980): 作物のフザリウム病(全国農村教育協会)、中村浩(1980)植物名の由来(東京書籍)、奈良県農業試験場百周年記念事業編(1995): 大和の農業技術発達史、大栄西瓜100年記念事業実行委員会編(2008): うまさ奏でる大栄すいか、宮崎正勝(2009): 知っておきたい「食」の日本史(角川文庫)年代順。

(小玉技術顧問)

[目次へ戻る](#)



今月の肥料紹介 **夏の高温にも負けない、倒伏軽減剤入り元肥一発肥料**

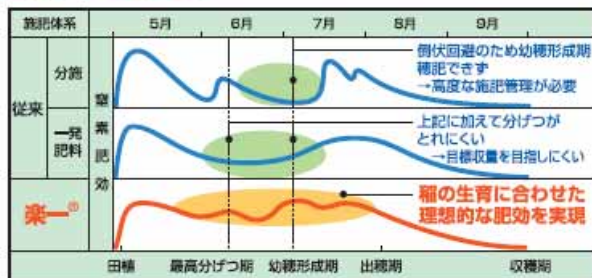
昨今異常気象が続いています。昨年は特に、低温による初期生育不良、入梅後の高温・日照不足による節間伸張、登熟期の高温による品質低下など、例年以上にその影響が見られました。そんな中、楽一施用圃場では安定した倒伏軽減効果、品質、収量を実現できました。ぜひ一度、楽一の効果をお試しください。



## 楽一®のここがスゴイ

- ① 倒伏軽減剤入り基肥一発肥料
- ② 肥培管理を楽にするために開発
- ③ 安定した作柄、安心できる
- ④ 米の品質向上、くず米の減少が期待できる
- ⑤ 側条施用銘柄も充実  
(楽一®20S・楽一®20W・楽一®27)

肥効イメージ (平坦部・コシヒカリの場合)



●銘柄一覧 容量：15kg袋

銘柄	N-P-K	ウニコナ ゾールP(%)	全層	側条	登録番号	
					肥料	農薬
楽一21	21-11-10	0.004	○	—	86573	21557
楽一18	18-12-12	0.004	○	—	90142	22450
楽一25	25-10-8	0.004	○	—	86574	21558
楽一27	27-10-7	0.004	○	○	86575	21559
楽一20S	20-11-11	0.002	○	○	86572	21560
楽一20W	20-12-12	0.003	—	○	90143	22451

お問い合わせはこちらまで  
住友化学株式会社 アグロ事業部 肥料営業部 電話：03 - 5543 - 5783

[目次へ戻る](#)

今月のお奨め農薬
----------

## ぶどうの休眠期防除に

# ベンレート水和剤



ぶどうの主要病害には灰色かび病、べと病、晩腐病、黒とう病等がありますが、そのうち、難防除病害の晩腐病および黒とう病の防除ではベンレート水和剤による休眠期(萌芽前)防除が有効です。ベンレート水和剤の休眠期(萌芽前)防除は第一次伝染源の分生胞子の形成を抑えて生育初期の発病を抑制し、その後の生育期防除の効果を高めるのでその実施が推奨されています。

ベンレート水和剤の有効成分はベノミルです。ベノミルは水溶液中や植物組織中でカルベンダジム(MBC)に変化して殺菌作用を発揮します。ベンレート水和剤は予防効果\*と治療効果\*\*の二つの効果を発揮します。



予防効果\*：病害感染前の薬剤散布で、病原菌の組織(植物体)への侵入を防ぐ効果  
 治療効果\*\*：病害感染後の薬剤散布で、植物組織に侵入している病原菌の菌糸の伸長を阻止し、病斑の進展を止める効果

### 【ベンレート水和剤の主な特長】

- 1) 幅広い病害に優れた防除効果があります。  
 抗菌スペクトラムが広く、広範な糸状菌病害に高い活性を示します。ただし、藻菌類による病害(べと病、疫病、ピシウム菌立枯病、根こぶ病)、および細菌病には活性がありません。
- 2) 浸透性があり、予防効果と治療効果(病斑進展阻止効果)を併せもちます。
- 3) 休眠期(萌芽前)防除で石灰硫黄合剤との同時処理ができます。

### 【ブドウ晩腐病対策のポイント】

- 休眠期(萌芽前)の防除ポイント
- 1) 結果母枝や巻きひげの伝染源を減らす  
 晩腐病菌は結果母枝や巻きひげの組織内に菌糸のかたちで潜在し越冬します。発芽前に果梗の切り残しや巻きひげを除去します。
  - 2) ベンレート水和剤による休眠期防除を行う(3月中旬～4月上旬)  
 生育期の防除ポイント
    - 1) 生育期の薬剤散布を行う(6月上中旬)  
 落花直後から袋掛け前(6～7月)は晩腐病の主要感染期で、薬剤散布による防除が重要です。防除暦等に記載されている薬剤を使用します。
    - 2) 小豆大期にカサかけを行う(6月上中旬)
      - ・ 梅雨期に孢子数が多くなり、感染期になります。孢子は雨水によって飛散し、感染します。
      - ・ 小豆大期以降カサかけまでの降雨量が多いと晩腐病の発生が増加します。カサかけが遅れないように、また雨水がかからないようにしっかりと取り付けることが重要です。

(鳥取)

[目次へ戻る](#)

今月のご相談から

## いちごのハダニ類防除剤について教えてください。

**Q1 .** いちご（施設栽培）のハダニ類防除のポイントは何ですか？

**A1 .** ハウス栽培いちごでは、ナミハダニ、カンザワハダニなどが発生します。これらのハダニは高温・乾燥条件を好みますので、一般的には1～3月頃に多発します。防除のポイントは次の通りです。

高密度になると防除が困難になるので、初期防除を心がけてください。ハダニ類の体長は0.5mm程度と小さく、被害が発現してからやっと気付くケースが多いので、園地を回って早めに寄生を確認するようにして下さい。苗や定植直後は地面に接している最下位葉を主体に葉裏を観察し、開花期以降はカスリ状の白っぽい葉が見えるようになるので、防除の目安にしてください。

ハダニ類は薬剤抵抗性が発達し易いので同一系統剤の連続使用は避け、作用性の異なる他の殺ダニ剤と組み合わせて使用してください。

天敵類を利用した生物防除剤の発生初期からの使用も有効ですが、天敵類に対する農薬の影響には十分注意してください。



**Q2 .** いちごのハダニ類防除剤にはどんな農薬がありますか？また、それぞれの殺ダニ剤の特長を教えてください。

**A2 .** 当社剤としては、オサダン水和剤25、オサダンフロアブル、ロディーくん煙顆粒、ロディー乳剤、粘着くん液剤があります。各剤の特長は以下の通りです。

**オサダン水和剤25、オサダンフロアブル**

ハダニの卵に対する活性は弱いものの、幼若虫や脱皮直後の成虫に効果があります。効果はやや遅効的（効果発現までの日数は、夏期で3～4日、春秋で7～10日程度）ですが、残効性があります。また、カブリダニなどの天敵類に悪影響が少ない薬剤です。

**ロディーくん煙顆粒、ロディー乳剤**

ロディー剤は合成ピレスロイド系殺虫剤ですが、殺ダニ活性を有しています。**ロディーくん煙顆粒**は、液剤処理より短時間で薬剤処理作業が済み、省力的であるとともにハウス内の湿度を高めないので、多湿を好む灰色かび病等の病害の発生を助長しません。また、**ロディー乳剤**は苗などのハダニ防除に使用するようにして、開花期以降、受粉を目的としてミツバチ等を放飼中の施設では使用を避けて下さい。

**両剤ともミツバチに対して影響がありますので、製品ラベルの注意事項を良く読んでご使用ください。**

**粘着くん液剤**

本剤は、有効成分として食品に広く使用されている「デンブン」を使用しており、人畜に対して高い安全性を有し、環境に対する影響がほとんどない環境にやさしい農薬です。本剤の作用性はマシン油乳剤などと同じような「物理的殺虫作用」であるため、**害虫の薬剤抵抗性発達の恐れがなく**、化学農薬に対する抵抗性が発達した害虫に対しても安定した効果を発揮します。さらに、ミツバチ、マルハナバチ、カイコなどの有用な昆虫に対して影響がほとんどなく、天敵類に対しても影響が小さい農薬です。従って、天敵との組み合わせによる害虫防除に最適です。

**なお、防除のポイントとしては散布液が直接害虫にかからないと効果がないため、ハダニ類にむらなく薬液がかかるように、葉の表裏にていねいに散布してください。**

(小川)



参考：カンザワハダニ（ナス）

[目次へ戻る](#)

今月号より堂々復活！！

## お役立ちプチ情報

### 農薬登録の作物分類(1)



#### 1. 農耕地に適用される農薬の分類

1) 適用農作物(食品の用に供される農作物((特用作物及び家畜の飼料の用に供される農作物を含む。):作物残留性試験成績を必要とするもの)

大分類	中分類	作物名
米		稲
麦類		えんばく、大麦、小麦、ライ麦
雑穀類	いね科細粒雑穀類	あわ、きび、ひえ
	とうもろこし (注1)	とうもろこし(子実)、未成熟とうもろこし キノア、そば、はとむぎ等
果樹類	かんきつ	きんかん、ネーブル、みかん等
	小粒核果類	あんず、うめ、すもも
	ベリー類 (注1)	ブルーベリー、ラズベリー等 なし、ぶどう、りんご等
野菜類	うり類(漬物用)	しろうり、漬物用すいか、とうがん等
	とうがらし類	ししとう、とうがらし、ハバネロ等
	なばな類	なばな、はなっこりー、みずかけな等
	非結球あぶらな科葉菜類	こまつな、たかな、ひろしまな等
	非結球レタス	かきちしゃ、サラダ菜、リーフレタス等
	豆類(未成熟)	えだまめ、さやいんげん、さやえんどう等
	しそ科葉菜類	しそ、タイム、はっか等
	せり科葉菜類 (注1)	せり、パセリ、みつば等 かぼちゃ、だいこん、トマト、レタス等
きのこ類		エリンギ、しいたけ、なめこ等
いも類		かんしょ、ばれいしょ、やまのいも等
豆類(種実)		あずき、だいず、らっかせい等
飼料作物	牧草	いね科牧草、まめ科牧草
	(注1)	飼料用えんばく、ソルガム等
	(注2)	ごま、さとうきび、茶、てんさい等

2) 適用農作物(食品の用に供される農作物((特用作物及び家畜の飼料の用に供される農作物を含む。))以外の農作物:作物残留性試験成績を必要としないもの)

大分類	中分類	作物名
花き類・観葉植物	(分類項目なし)	ばら、きく、ゆり等
樹木類	つつじ類	アザレア、くるめつつじ、さつき等
	つばき類 (注1)	さざんか、やぶつばき、ゆきつばき等 さくら、すぎ、ひのき等
	西洋芝	西洋芝(ベントグラス)等
芝	日本芝	日本芝(こうらいしば)等
	(注2)	いぐさ、たばこ、桑等

(注1):中分類では分類されない作物

(注2):大分類では分類されない作物

#### 2. 農耕地以外に適用される農薬の分類

農耕地以外に適用される農薬には①「樹木等」の登録で、駐車場、墓地、鉄道等で使用される非農耕地用除草剤、②「休耕田」の登録で休耕田の雑草、害虫管理に使用される薬剤等がある。

農薬登録の作物分類の詳細は農林水産消費安全センターのホームページで確認してください。

<http://www.acis.famic.go.jp/shinsei/sakumotuhyou.htm>

「農薬登録の作物分類」は4回シリーズです。

1回目：  
全体説明

2回目：  
「野菜類」  
の詳細説明

3回目：  
「豆類」と  
「うり類(漬物用)」

4回目：  
「樹木類」と  
「樹木等」の違い

(山脇)

[目次へ戻る](#)

## 農薬登録情報 平成22年12月22日の主な適用拡大の内容です

### 適用拡大



種類	薬剤名	変更点	作物	病害虫名/使用目的	使用量ほか	
殺虫剤	ダントツ粒剤	作物追加	はなっこりー	アブラムシ類	6kg/10a	定植時 本剤1回 作条処理 土壌混和
		害虫追加	だいず	フタスジヒメハムシ	6kg/10a	は種時 本剤1回 播溝処理 土壌混和
		使用方法追加	かんしょ	コガネムシ類	6~ 9kg/10a	植付前~ 植付時 本剤1回 全面処理 土壌混和

(佐伯)  
[目次へ戻る](#)

## 病害虫発生情報

1 / 8 ~ 16

### 栃木県

\* 1月11日 特殊報 トルコギキョウ/トルコギキョウ葉巻病 (タバコナジラミにより媒介)  
 当社登録薬剤: ベストガード水溶剤 (花き類・観葉植物/コナジラミ類)  
 詳細は: <http://www.jppn.ne.jp/tochigi/>



ベストガード水溶剤

### 岐阜県

\* 1月13日 特殊報 いちじく/イチジクヒトリモドキ  
 当社登録薬剤: アディオン乳剤  
 詳細は:



アディオン乳剤

<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo-koyo/nogyo/gijutsujoho/byogaichu-bojoshu/yosatsu/warning/>

適用内容を確認して、地域に適した薬剤をお使いください。

(小川)

[目次へ戻る](#)



# 最近の「お・・美味しい！」

## 今年も元気に美味しく！！

弊社相談室から佐伯がお送りします  
最近の「お・・美味しい！」  
女性の目・主婦の目・はたまた酒呑み??の目(笑)で、  
毎月「これぞ！」というものを紹介します。  
どうぞお楽しみに♪♪♪

新年明けましておめでとうございます！今年もどうぞ本コーナーをご最厚に！！

ということで、今年も始まりました「最近のお・・美味しい！」。今年最初の美味しい話題は・・そう、「食べ過ぎ」です(笑)。皆様、年末年始はいかがでしたでしょうか？私は例年どおり、年末は家の大掃除をし、年始は夫婦両家に挨拶といった感じです。年末は良いのです。大掃除をして体を動かしていますから。しかし！やはり年始はダメですね、もうどうやっても食べ過ぎになってしまう。元旦は自宅で迎えるもののやはりいつもに比べれば「食べ過ぎ」になってしまいます。そして、恐怖の？2日、3日が始まります。どちらの実家に行っても「よく来たよく来た、食べる食べる(呑め呑め)」と、あり得ない量のご馳走やらお酒が出てきます。仕舞いには全て食べるのは無理なので「お持ち帰り」する始末。ありがたいこととは言え、せっかく年末まで良い感じで体重を保ってきたのに、ここに来て一気に戻ってしまう気配(大汗)・・。年末に整理してせっかくスカスカになっていた冷蔵庫が、そんなことで「ごちそう」でいっぱいになったため、仕事始めからはそれらをせっせといただき、そろそろ(おせちに)飽きてきた頃にそれらを制覇！「やっと違う味のものが食べられるー！」と思ってその後食卓に上り始めたのが「鍋物」です。



今年も黒豆・なます・お煮しめだけは作った！！

鍋物なら野菜もたくさんでヘルシーだし、寒い季節にちょうど良いし、味のバリエーション

も無限大！まるでおせちから逃れるかのごとく「トマト鍋」「鶏つみれ鍋」と、週末ごとに鍋をやりました。トマト鍋は、今流行りのトマトベースの鍋物です。オリーブオイルでにんにくを炒めてから、たまねぎ、キャベツ、人参などの野菜をさっと炒めてコンソメ仕立てのスープで煮て、生トマトとトマト缶で味付けをし、最後に、豚バラ肉を上から置いて蒸し焼きにしてからいただきました。トマトの酸味と野菜の甘み、豚バラのコクと一緒に美味しく！脱おせち味に見事成功しました(笑)。



(よくわかりませんがいちおうトマト鍋)

また、鶏のつみれ鍋は、あっさり味噌仕立ての鍋物です。鶏つみれは手作りですよ～。これには鍋に定番の白菜、ねぎ、豆腐のほかに、人参、ごぼう、油揚げを入れてちゃんこ風にしてみました。味噌味の鍋にはごぼうがとってもマッチ！また、あっさり具材の中に油揚げを入れると、コクがアップ！いい仕事してくれます。あ～美味しい～幸せ～

はっ！でもよくよく考えてみると・・鍋物ってヘルシーなイメージがあるけど、結局、食べ過ぎてしまっている気がする！下ごしらえする具材の量って、よく見るといつも食べる量よりはるかに多いような・・(汗)はは、ま、いっか～？美味しいし(ああダメ人間)。

いや～しかし、美味しいものと健康維持のジレンマっていつになっても悩ましいものですね。もはや一生永遠のテーマかもしれません(おおげさ?)。よし！今年も健康で美味しいものを適度に食べるぞ！?(佐伯)



こちらは手作り鶏のつみれ鍋

[目次へ戻る](#)

## ~ New ! 編集後記 ~



昨年、特徴的なことの一つは山林に棲んでいる熊、鹿、猪、猿などが町に下りてきて、食べ物を漁り、大騒ぎになることが頻発したことです。

今回訪問した農家さんの畑でも猪が出没し、畑が荒らされるだけでなく、身の危険も感じておられました。新聞報道などでの専門家の解説では山林の環境悪化が原因とのです。日本は山林が大半の面積を占めており、この環境が悪化するの足元が危うくなっている予兆かもしれません。古来、日本の農家は山を麓から上に向かって開墾し、田畑を拓げてきました。開墾され、山林と接している田畑は山林に棲んでいる動物の生活圏と人間の生活圏の緩衝地帯としても働いていました。ところが、減反が進行すると、作業効率が悪く、生産性の低いこれらの山林近傍の農地が最初に放棄され、林野化が進んでいます。長年にわたる開墾で田畑を押し上げてきた力がなくなり、逆に「山が降りてくる」と称せられる状態になっています。これが、山林の動物が町に下りてくる原因の一つに揚げられています。また、日本海側を中心にミズナラ等の大木が突如枯れる「なら枯れ」が進行しています。この「なら枯れ」も林野が整備されなくなり、原因菌のナラ菌を媒介するカシノナガキクイムシの発生が多くなったことによります。このような状況を変えるのは困難かもしれませんが、改善に向けて少しでも貢献できるよう、色々な情報を発信していきたいと思っています。本年も宜しくお願いいたします。



イラスト：山脇

(山脇)

本誌編集者の佐伯です。明けましておめでとうございます。「農力だより」を今年もどうぞよろしく願いいたします。

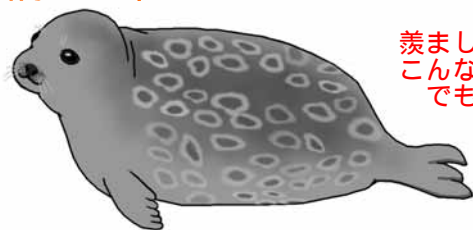
このように今月号から編集後記は、「農家さん訪問記」を担当した執筆者(2人)が担当することになりました。農家さん訪問記は毎月担当が替わるため、編集後記の担当も毎月替わることになります(個性豊かな担当が続々登場予定)。どうぞお楽しみに!

さて、1月号ということで今年目標をいくつか。1つは、本誌「最近のお・美味しい」で書いた「健康で美味しいものを適度に食べる!」でしたが、もう1つは「もう少しゆっくりする時間を持つ」です。性格上バタバタと動いているのが好きなせいか、平日は仕事や家事、休日も趣味などで予定がぎっしり!いつも頭をフル回転させていると、その自覚はなくても頭と体が随分と疲れるものです。ゆっくりする時間があればそれも回復してより良いアイデアなどが生まれるかも・・ということで、せめて土日のうちどっちは「日向ぼっこして1日を過ごすアザラシのように」何もしないで「ぼっ」としたいと思います。

・・・とは言ったものの、さ~て、本当にそんなこと、どのくらいできるのか!?実現できるか甚だ疑問です(苦笑)。

(佐伯)

### 日向ぼっこ中のワモンアザラシ



羨ましいぞ!  
こんな生活!  
でも1日で  
飽きそうだ・・

イラスト：南(本誌新発行責任者)

次月号の「農力だより」は  
2月28日(月)の発行予定です。  
どうぞお楽しみに!!

[目次へ戻る](#)